

## 院外処方箋に表記されている検査値一覧表

表示項目	検査項目	単位	基準値	概要	パニック値(電話報告基準)	
					下限	上限
<b>WBC</b>	白血球数	[10 <sup>3</sup> /μL]	3.5-9.0	好中球やリンパ球などの白血球の総数を示しています。	2.0	30.0
<b>Hb</b>	ヘモグロビン (血色素量)	[g/dL]	男性:14.0-18.0 女性:12.0-16.0	赤血球に含まれる酵素を運ぶためのたんぱく質です。貧血では低下します。	8.0	18.0
<b>Plt</b>	血小板数	[10 <sup>4</sup> /μL]	15.0-40.0	止血のために働く血球の数です。	7.0	100.0
<b>PT-INR</b>	プロトロンビン時間	—	—	血液凝固 (出血時に自然に血液が固まるしくみ) の異常の原因を調べるのに役立ちます。増加している場合、出血しやすい (血が止まりにくい) 状態といえます。ワルファリン治療時の薬の量の調節に必要な検査です。また、肝機能が悪い場合に異常値を示しやすいため、肝機能の指標にもなります。	—	—
<b>AST</b>	アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	[U/L]	13-30	肝臓、心臓等の障害の指標です。	—	500
<b>ALT</b>	アラニン アミノトランスフェラーゼ	[U/L]	男性:10-42 女性:7-23	肝臓の障害の指標です。	—	500
<b>T-Bil</b>	総ビリルビン	[mg/dL]	0.3-1.0	横断の程度を示します。	—	5.0
<b>血清Cr</b>	血清クレアチニン	[mg/dL]	男性:0.6-1.2 女性:0.5-0.9	腎臓の働きをみる検査です。	—	4.0
<b>eGFR</b>	糸球体濾過量	[mL/min/1.73m <sup>2</sup> ]	—	血清クレアチニン値から計算された腎機能の指標です。体表面積1.73m <sup>2</sup> あたりの値で表示されています	—	—
<b>CK</b>	クレアチンキナーゼ	[U/L]	男性:59-248 女性:41-153	筋肉に含まれる酵素で、心筋梗塞や筋肉の病気で増加します。	—	1500
<b>CRP</b>	シーアールピー	[mg/dL]	0.2以下	炎症マーカーとして用いられます。感染症の場合にも高値となります。	—	15.0
<b>K</b>	カリウム	[mEq/L]	3.6-5.1	血液中の電解質の濃度です。	2.0	6.0
<b>HbA1c</b>	ヘモグロビンエーワンシー	[%]	4.6-6.2	血糖コントロールの指標です。国際基準値で示しています。	—	—